

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

市長の政治姿勢について



議員 孝之 笠織
(遠野一新会)

問 市長は18・19年の施政方針演述で「綾織小学校は改築に向けて住民参加型の基本計画・基本設計に取り組み」と表明した後、中学校舎を活用した突然の計画変更をした。地域からは中学校舎を活用した併設校化望ましくないと拒否し、又、5年10年と建設が先延ばしされても困ると苦しい胸の内を明かした地域・PTAの気持ちをどのよう

に受け止めるのか。市民の皆様と直接対話を重ねたが理解されていない。12月

答 定例会所信表明で「対話と情報共有」を表明しているが、校舎改築の経緯に相反すると思うが。

問 中学校再編成計画案について議会特別委員会では「23年4月の再編成は時期尚早」との結論を出している。中学校舎を活用した校舎づくりになるのが理解できない。活力ある地域づくりを進めるには何度も議論を重ね納得した末に結論を出すべき事で、地域によっては行政が逆に地域

壊しとも言われるが、再編成計画にも整合性がないが、その考えを伺いたい。

答 「学びのプラットフォーム特区構想」も「中学校再編成計画案」に対する私の考え方も「対話と相互理解」を重んずる基本理念。姿勢と相違あるものでない。ご理解を頂きたい。

問 農業生産物の加工施設整備の状況は。

答 アストでは、JA花巻と利用農家との意見交換や視察を行う等、加工所整備に向けて検討・調査を重ねてきた。運営主体についてはJA関連会社、集落営農組合が名乗りを上げている。

問 規格外の野菜、山菜、果物の加工施設整備についての考えを伺いたい。

答 今回の加工所の整備計画はJAで廃止になったジュース、ジャムの加工を第一に考えている。野菜等の加工については、農家所得の向上に有効な可能性があると考える。農業振興の中心的組織であるJA花巻と共に、調査、研究が必要と考える。



加工も期待される無農薬野菜の栽培風景